



第22回手話を考えるフォーラムにて県サ連会長特別講演！



必見！
分析して分かった
手話サークル

千葉県手話サークル連絡協議会
外口 晴久

第22回手話を考えるフォーラム2022in青葉 2022年7月10日

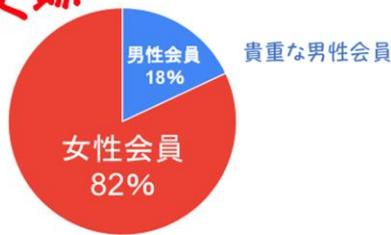
7月10日(日)、第22回手話を考えるフォーラム2022in 青葉が、千葉市ハーモニープラザにて開催されました。特別講演では我が県サ連会長の外口晴久氏が講師として登壇しました。

チラ見せ

① 県内手話サークルを分析した結果

加盟手話サークル員男女比

女性が輝く場！



第1部

データ分析で見る千葉県内の手話サークル

第2部

故・河合洋祐氏の講演を分析

第3部

全国の手話サークル連絡協議会



加盟手話サークル 年齢層割合



高齢化社会

まとめ

- ・手話サークルは**8割以上が女性**。女性が輝く場！
- ・手話サークルは**高齢化社会**である。
- ・ほとんどの手話サークルは、**新型コロナウイルスの影響で会員数が減っている**。
- ・各市町の人口と手話サークル会員数の関係は、**約0.03%の比率**である。

加盟サークルの皆さまには、事前アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。この場をお借りして御礼申し上げます。

② 故・河合洋祐氏の講演から

- ① 定期的話し合う
- ② お互いの立場・意見をはっきり出す
- ③ 合意を大切に

話し合いの**三つの原則**を守って欲しいと思います。



そういう人達（手話サークル）のグループが誕生して、初めてろうあ者は社会の人達と接触が持てるように変わってきたんですね。

手話サークルはろうあ者のために手話を覚えるための場ではないのです。

社会的な繋がりを作る場でもあったわけです。

手話サークルの人達を増やすことによって、いろいろな経験を持つように変わってきたと思います。

手話サークルを見つめなおす観点で分析。発展のヒントになるようなお話もあったよ。

サークルの一人歩き



- ・聴覚障害者が少ない（いない）サークルにおいて、聞こえる人が先に物事を決めてしまい聴覚障害者が置いていかれる。
- ・手話の本やテレビ、手話歌など、地域の手話に活かない自己流の学習になり、地域のろう者の表現がわからない。

※河合洋祐氏：ろうあ運動に尽力した36人の中の1人！

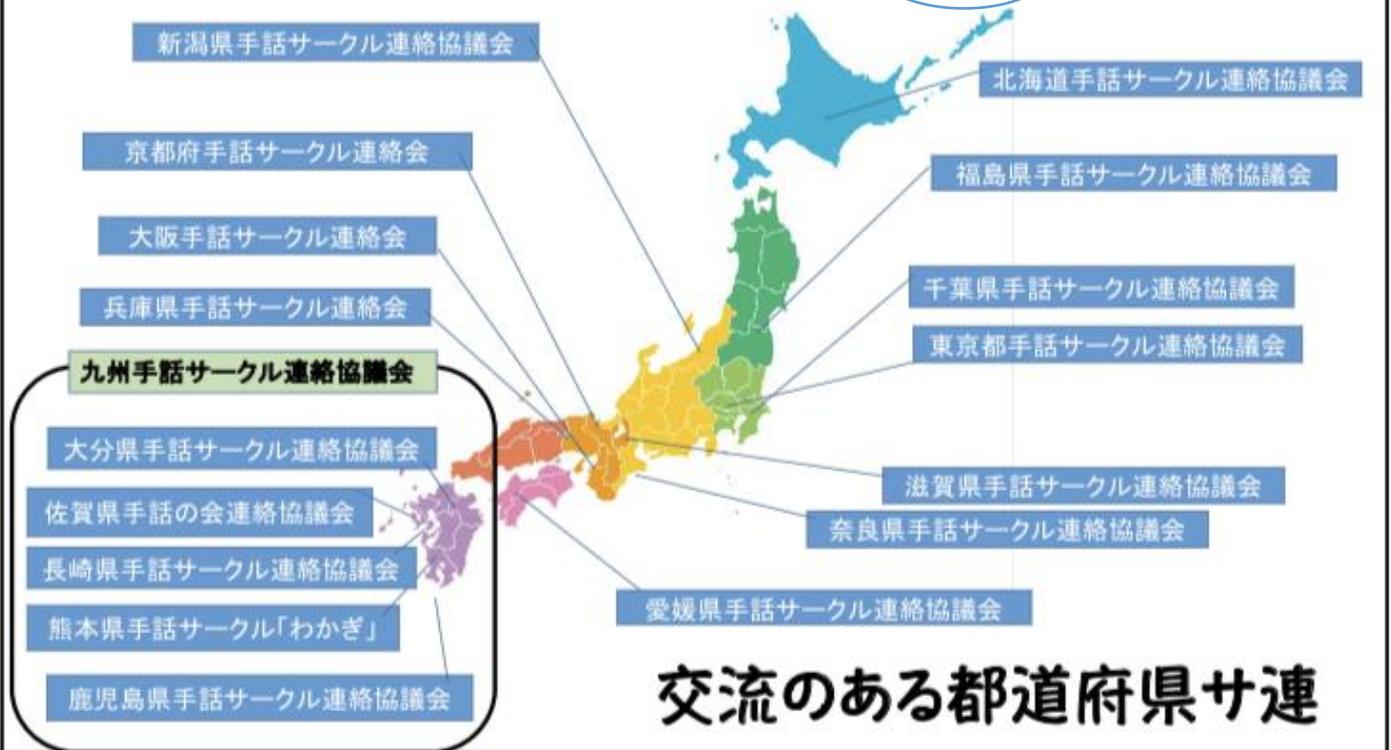
☆外口氏の講演依頼は県サ連まで☆

それと、コロナ禍でリモート会議が盛んになり、全国の都道府県サ連とのつながりも！地域による特色なども紹介されたね。



わお！

③ 全国の手話サークル連絡協議会



県サ連定期総会無事終了（7月2日、Zoomにて） 第1回役員会（7月17日、役員会グループLINEにて）

県サ連ホームページ <http://www.kensaren.sakura.ne.jp/>

発行：千葉県手話サークル連絡協議会 責任者：外口晴久